

# オホーツクの風

発行所  
北見赤十字病院の  
明日を考え支援する会  
事務局  
北見市緑ヶ丘1-10-16  
Tel 0157-61-0684

平成25年1月31日(木) 新年号 0008号



## 2013年 新春懇談会

(出席)

北見赤十字病院  
病院長・吉田茂夫、総務課課長・真壁寿一  
同主事・佐藤圭悟

北見赤十字病院の明日を考え支援する会  
代表・谷川勝男、表宏樹、平林守、  
阿久津俊子、阿部孝子、中田ふみ子、  
古澤尚子、逢坂富台(司会)

### 新病院の建設 状況のあらまし

直壁 作業所が発行する「かわら版」により、まずと基礎工事の免震部分のコンクリート打設、配筋工事などが進行中で、1月末からは型枠工事が始まります。

今年の12月には外枠が立ち上がり内装は6階まで工事が進む予定です。

吉田 いつもお世話話になって居ります、歳が明けて今年もよろしくお願いを致します。

今、課長の方から話がありました。が、新病院は6つの工区で順調に進んでいます。現在、免震構造の基礎の捨てコンを打っています。同時に、倉敷で免震装置を造っています。3月に入ると現場に到着し、据え付けが始まります。

免震構造体は鋼鉄のスプリングと生コ

ムで出来ています。これはマイナス50度まで耐えられます。これを何十基も敷設し、その上に建物を建てます。

これが完成したら、めったなことではつぶれない、災害に強い病院の免震構造が出来上がります。

今は足場が悪いので、工事の場面、場面で、その都度、皆さんに、ご案内を致しますので是非、現場を見て戴きたいと思えます。

### 近代的内部体制 への取り組み

吉田 工事は順調に進んでいます。で、今、新病院の運営の近代化に取り組んでいます。いろいろな事がありますが、患者さんと家族の利便性や病院で働く従業員の働きやすさに付いて話し合っています。例えば、現在、患者さんが診療を受けるまでの待ち時間が平均約30分から1時間ほど掛かっています、その待ち時間をどう縮めるか、その待ち時間をどう過ごすか、それをどうにかということですが、医師、看護師の役割が専門特化してきます。私もそうです。医師の一番苦手な仕事は診断書や書類を書くこと、とても時間が掛かり大変です。これを解決する方法として、別の専門職制度を作つてカルテなどの情報管理を専門職が引き受けてくれる時代になりました。

30人とかそんな人数で対応することになると思えます。この仕組みはすでに国でスタートさせています。現在、8人くらいいます。今まで医事課で会計等をやっていた方を転換させたいと思えますが、それだけでは足りないので新しく雇用が必要となります。医療、介護は雇用を増やすと云われますが、この分野でも若い人の雇用が生まれると思っています。

ただこれもすぐに出来ません。医学の専門用語の勉強などが有り、スタートさせには何年かの準備が必要で、今の準備に取りかかっています。メディカルスタッフという名前を付けようと思つていますが、医師と話しが出来る専門知識やコンピュータに強い事務職の人を養成して、おそらくは

今一つは近代的で、快適な病院にすることです。病院は大事な社会資本で、いろんな人が出逢う所です。そこで、アーミー機能を充実するために、いろんな議論をしています。そのひとつとして、アーミーについて、企業のコンペティション、いわゆる企業提案型で先般ようやく決まりました。(2面につづく)